

① 町の農業振興について

長与町の農業振興については基幹作物であるミカンの出荷が年々減少する中、オリーブ栽培やブルーベリー栽培など新たな取り組みも始まっている。また、じげもんをはじめとした直売所の好調な経営は地産地消に弾みを付けている状況と言える。

しかしながら、一方では農家の急速な高齢化は担い手不足と相まって、農家の世帯数の減少に拍車をかけており深刻な課題となっている。さらに、増加する耕作放棄地対応施策である中山間交付金制度への参加辞退も出てくるなど、長与町の農業を取り巻く環境は年々厳しくなっているのが実態である。このような状況の中で、農業振興施策について質問したい。

(1) 農業生産基盤の強化について

柑橘類を中心に、オリーブやブルーベリーなど新たな農作物の生産拡大や、農業生産の充実に向けて様々な施策が展開されているが、担い手の拡大に繋がる農業所得の向上に向けてどのように取り組んでいるか。

(2) 耕作放棄地の対策について

町の耕作放棄地については、これまでも対策がなされてきたが、年々増加傾向にある。効果ある施策に向けてどのように対応していくのか。

(3) 農業事故の撲滅について

全国的に農作業中の死亡事故が減少しない状況にある。特に高齢者の事故が多くを占めているが、町は事故撲滅に向けてどのように取り組んでいるか。

(4) 農業支援センターの充実について

長与町農業支援センターについては、町の農業活性化に向けて大きな役割を果たすものと期待しているが、具体的にはどのような支援を行っているのか。